

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 0256-72-8844(岩室地区公民館)

年度	令和4年度		
施設名	新潟市岩室地区公民館	所管部・課	新潟市中央公民館
施設の設置目的	市民のために、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とします。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R4.6.22
歳入	632	正職員	3	修正日	
歳出	10,627	会計年度任用職員	1	評価日	R5.7.18

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標					R4結果
1	市民	学習施設として、広く市民の方から目標値以上に利用してもらおうことを目指します。	年間利用者数1万人以上(単位:人)	15,643	6,743	6,546	6,500	9,847	岩室・間瀬地区公民館の利用者数(新型コロナウイルスの影響を考慮し、昨年実績とした)	岩室地区公民館 9,847人 間瀬公民館 422人	コロナの影響も少なく、活動も徐々にではあるが以前のようになってきた	B:達成
2	市民	地域コミュニティづくりをすすめ、地域団体(コミ協、自治会、育成協、など)と共に学習の場を作ります。	地域団体等との連携事業数(単位:件)	4	3	3	3	4	コミュニティ協議会、自治会、青少年育成協議会、スポーツ振興会、岩室児童館	子供体験教室(竹灯籠、折たたみイス、ミニ門松) レッツダンス	子供体験事業はコロナ対策を講じて行った	B:達成
3	市民	地域と学校と協働した講座を開催し、ネットワークづくりを支援します。	出前型講座(単位:回)	3	0	3	3	1	岩室小学校1、和納小学校1、岩室中学校1	岩室小学校(祝いご膳)	開催予定時期にコロナによる影響で中止となった	C:未達成
4	財務	効率的な施設運営を行い経費削減に努めます。	運営コスト(1人当たりの光熱水費)300円以下(単位:円)	289	437	484	480	375	燃料費(灯油、電気、ガス、水道)の1人あたりのコスト(岩室・間瀬地区公民館) (新型コロナウイルスの影響を考慮し、昨年実績とした)	電気 1,951,063円 灯油 1,185,096円 ガス 91,541円 水道 28,269円	コロナの影響も少なく、活動も徐々にではあるが以前のように利用者も増えてきた	B:達成
5	業務	災害などに迅速に対応できる体制づくり	防災訓練を年2回以上実施(単位:回)	2	2	2	2	2	防災訓練を2回以上実施する。(岩室・間瀬地区公民館)	年2回防災訓練(通報、消火、避難訓練)	10月、2月に利用者と共に避難訓練を実施	B:達成
6	業務	市民の方から安心して利用していただける施設運営を行い、事故防止に努めます。	施設利用者の事故発生件数を0(単位:件)	0	0	0	0	0	施設利用者の事故防止に努め発生件数0とする(単位:件)	S54竣工施設のため、設備関係の維持管理に重点を置く	日常点検を行い早期発見、早期修繕を行った	B:達成
7	人材	施設目標を達成するうえで、必要な知識やスキルの上をを図ります。	人材研修を年間3回以上実施(単位:回)	4	3	3	3	3	公民館全職員を対象に研修を実施	コンプライアンス、情報セキュリティ、ハラスメント研修	研修による再確認と職員同士の情報共有を図った	B:達成
8	市民	公民館事業(講座)の満足度	事業終了後の満足度80%以上(単位:%)		94	98	90	95	令和2年度からの追加項目(講座参加者のアンケート実施)	子供体験教室(竹灯籠、折たたみイス、ミニ門松)レッツダンス アンコールふさと講座(間瀬) 岩室小学校出前講座 岩室史跡巡り 家庭教育学級 シニア向けスマホ教室 大人の発達障害講演会 竹細工講習会 サンセットヨガ ベットと防災	13事業のアンケート結果は満足度95.46%となり参加者の評価は高かった	B:達成
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<ul style="list-style-type: none"> 地域活動・サークル活動の拠点として、地域コミュニティ活動の活性化に寄与します。 利用者数・稼働率の向上を目指し、市民でにぎわい親しみやすい公民館を目指します。 地域の人材を活用し、ボランティア講師をお願いするなど工夫して経費削減に努めます。 地域と学校、社会教育施設が協働する事業を展開します。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響も少なく、利用者は徐々にであるが増加傾向となってきた。しかし、利用者の高齢化に伴い定期利用団体の存続が厳しい団体もある。 これらを考えると講座の内容をどのように改善していくか検討が必要かもしれない。 唯一、未達成となった出前型講座であるが、コロナの影響が大であったため、次年度はコーディネーターと連絡を密にし計画していきたい。